

平成30年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立松梅中学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校生徒の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

平成30年4月17日(火)

■ 調査の対象学年

中学校3年生

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 〔国語A、数学A、理科〕	主として「活用」に関する問題 〔国語B、数学B、理科〕
<ul style="list-style-type: none">身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など	<ul style="list-style-type: none">知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況、児童生徒の体力・運動能力の全体的な状況等に関する調査

■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は中学3年生（小学6年生）と限られた学年が対象であり、教科は国語と数学（算数）、理科に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野（問題）です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご覧ください。

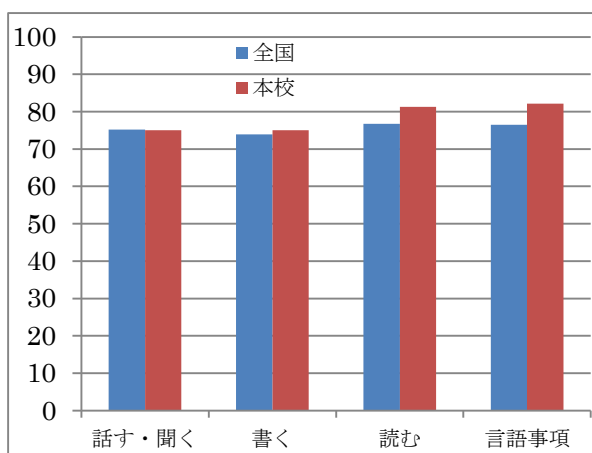
■調査結果及び考察

1 国語

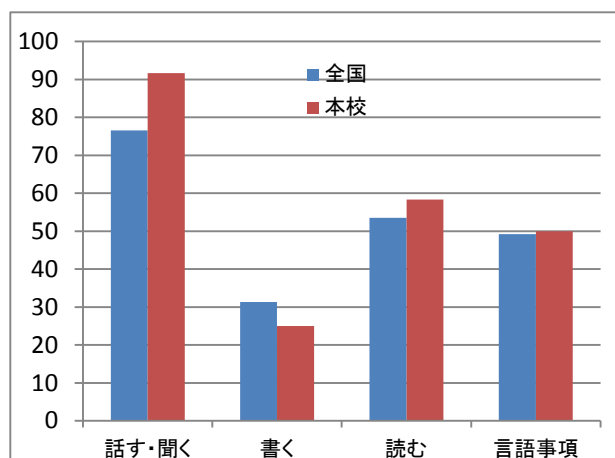
(1) 結果

全国正答率との比較

調査A（主として知識）



調査B（主として活用）



ほとんどの領域において、全国平均を上回っている。B問題の話す・聞く能力が高いのに対して、目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くことへの課題が見られた。

(2) 成果と課題

話すこと・聞くこと

・話し合いの話題や方向を捉えることができている。これからもペアやグループでの話し合い活動を、授業の中で積極的に取り入れ、話の展開に注意して聞いたり、必要に応じて質問したりする力を付けていきたい。

書くこと

・授業の中で、自分の考えを書く時間を多く設けたり、どのような視点で書けば良いか確認したりすることで、書く力を付けていきたい。佐賀市国語科で取り組んでいる「ステップ作文」を利用することで、継続的に書く活動を行い、表現力を付けさせたい。

読むこと

・目的に応じて文章を読むことに課題が見られた。多様な情報に触れながら発想を得る力、幅広い読書によって主体的に考え、視野を広げる力を今後も育成していきたい。

言語事項

・文脈に即して漢字を正しく書いたり、読んだりする問いでは、多くの項目で正答率100%だった。毎日の漢字の書き取りの宿題の成果が表れている。今後も、継続して取り組んでいきたい。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 授業の中で言語活動を充実させ、自分の思いや考えを豊かに表現する力を培います。
- 発表したり意見交換したりする場面を多く設定し、コミュニケーション能力の育成を目指します。

【ご家庭では】

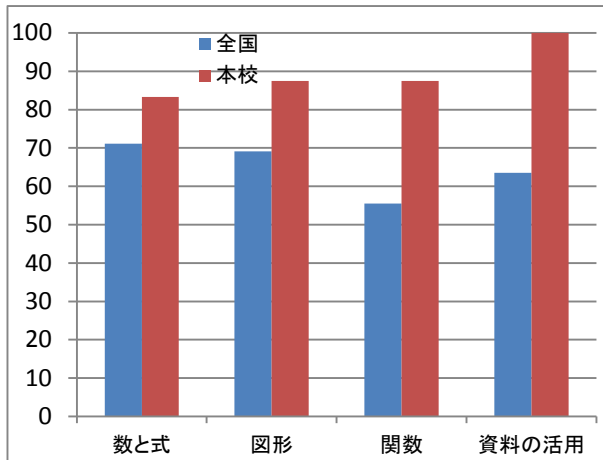
- 社会の出来事などについて機会を見つけて話題にしてみてください。会話の中から考える力や伝える力が育まれます。また、読書は視野を広げます。家族ぐるみで読書に親しんでください。
- 漢字の書き取りの宿題は毎日出していますので、時々目を通してください。正しく丁寧に書けているときは「しっかり書けているね」と励ましの言葉かけをお願いします。

2 数学

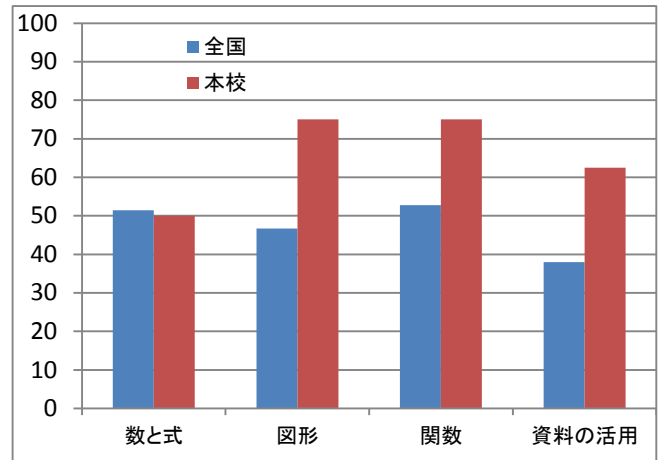
(1) 結果

全国正答率との比較

調査A（主として知識）



調査B（主として活用）



ほとんどの領域で全国平均を大幅に上回っているが、活用力を問う B 問題の数と式の領域のみ全国平均に達していない。すべての問題で無解答がなく、記述式の問題でも自分の言葉で伝えようとする姿勢は見られた。しかし、数学的な表現を用いて、筋道立てて説明することができていない傾向が見られた。

(2) 成果と課題

数と式

・計算問題については、正答率が高かった。しかし、絶対値の意味を理解していなかったり、数量の大小関係を不等式に表すことができていなかったりと知識・理解の部分で課題が見られた。

図形

・ほとんどの問題で高い正答率だったが、証明の必要性和意味の問題で仮定を正しく選択することができていなかった。仮定と結論を区別し、筋道立てて考える力を付けさせていきたい。

関数

・ほとんどの問題で高い正答率だった。関数の基本的なことは理解できているが生活場面での事象を数学的に解釈し、問題解決することができていないので、生活場面に存在する関数関係ととらえられる事象を考察し、思考力・判断力・表現力を高めさせたい。

資料の活用

・全体的に正答率が高かった。事象の起こりやすさの傾向を捉え判断の理由を説明したり、事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明したりする記述式の問題で誤答がみられた。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

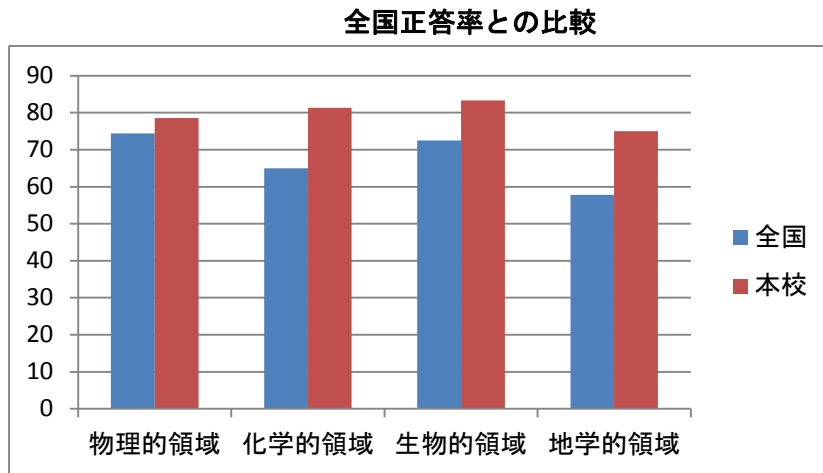
- 授業では、基礎的・基本的な内容の理解を深めます。
- 授業では、「一人学び」、「学び合い」の時間を設定し、主体的に学ぶ姿勢を伸ばしていきます。
- 昼休みや放課後に補充学習を行い、個々の生徒のつまずきに対応します。
- 定期的に宿題を出し、繰り返し学習することで確実な定着を図ります。できた喜びを実感させます。

【ご家庭では】

- 時々、宿題を一緒に考えてみるなど、理解の様子を観察してみてください。
- たくさんの励ましや、賞賛の言葉をかけてあげてください。

3 理科

(1) 結果



すべての領域で全国平均を上回っている。また、自然事象への関心・意欲・態度を問う問題では100%の正答率であった。すべての問題において無解答が無く、記述式の問題では、全国平均を大きく上回る正答率であった。

(2) 成果と課題

物理的領域

- ・高い正答率で、活用に関する問題にも対応できていた。しかし、オームの法則を使って、抵抗の値を求める問で誤答が見られたので、公式の再確認が必要である。

化学的領域

- ・濃度が異なる食塩水のうち、濃度が低いものを指摘する問いでは全員が正解することができていたのに対して、濃度が異なる食塩水のうち、特定の質量パーセント濃度のものを指摘する問題で誤答が多く見られた。

生物的領域

- ・すべての問いに対して、高い正答率だった。

地学的領域

- ・風向の観測方法や記録の仕方に関する問題、地震の揺れの強さに関する問題、湿度が高くなることを説明する問題で誤答が見られたので、既習内容の復習が必要である。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 観察や実験を通して、基礎の定着に努めます。
- 実験結果などのデータを、表やグラフにし、傾向を考察し、根拠や理由を示しながら自分の考えをまとめられるようにします。
- 問題解決を通して明らかになったことを、日常生活にあてはめて考えるようにします。

【ご家庭では】

- 子どもが理科的なことに興味・関心を持った時には、ぜひ一緒に考えたり、調べたりして下さい。

4 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果

《生活習慣について》 (どちらかといえばしているも含む)

調査の項目	本校%	全国平均%
朝食を毎日、食べている	100%	91.9%
毎日、同じくらいの時刻に起きている	75%	90.3%
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	50%	74.2%

朝食については、家庭の協力により、全員が毎朝、食べることができている。

起床・就寝時刻については、生活リズムが整っていない生徒もいるので、家庭と協力しながら改善を目指したい。

《学習習慣について》

調査の項目	本校%	全国平均%
平日2時間以上勉強している	0%	36.4%
平日1～2時間勉強している	75%	34.2%
平日0.5～1時間勉強している	25%	16.6%
家で、自分で計画を立てて勉強している	50%	52.1%
家で学校の授業の予習・復習をしている	25%	55.2%
家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において教科書を使いながら学習していますか。	75%	71.3%

平日2時間以上勉強している生徒はおらず、全国平均を下回っている。

学習内容については、「自分で計画を立てて勉強している」や「授業の予習・復習をしている」の割合が低く、学校から出される宿題のみに終始している生徒が多い。家庭学習の仕方を具体的に指導するなど、苦手教科の克服や得意教科を更に伸ばしていけるよう支援していきたい。

《その他の意識調査》

調査の項目	本校%	全国平均%
自分には良いところがある	100%	78.8%
将来の夢や目標を持っている	50%	72.4%
人の役に立つ人間になりたい	100%	94.9%
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う	100%	95.5%

将来の夢や目標について具体的な考えがない生徒もいるが、キャリア教育を通して、人生観や職業観を育み、自分の良さをいかせる生き方について考えさせたい。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

○毎日、「自主学习」「漢字」を宿題として出しています。また、他の教科でも授業内容に応じた課題を出し、家庭学習の習慣の定着を図っています。各自が自分の力を伸ばし、家庭学習の質を向上させられるよう、支援をしていきたいと思います。

○キャリア学習に重点を置き、将来の目標に向かって主体的な学習ができるように努めていきます。

【ご家庭では】

○家庭学習の習慣が定着するよう、「家庭学習のパンフレット」を活用されながら、ご支援をお願いします。
○規則正しい生活が身に付くよう、「早寝・早起き」の声かけをよろしくお願いします。そして、1つ成長を感じられることがあったら、みんなで喜び、励ましたり褒めたりしてあげてください。